

教育総務部
教育政策課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
1	教育委員会運営事業 教育行政の中立性・安定性を確保し、効率的かつ総合的な教育行政を推進するため、教育委員会の運営を行う。	定例会	回	12	12	12
		臨時会	回	3	3	3
		協議会	回	6	5	8
2	教育文化月間表彰式実施事業 教育、文化の向上を図るため、教育功労者等を教育文化月間で表彰する。	被表彰者数	人	132	133	77
3	小学校維持管理運営事業 各小学校の管理・清掃業務、夜間等機械警備業務、受付案内業務、廃棄物の収集・運搬・処理業務等、学校の施設維持管理等に必要な業務を委託し実施するほか、教材等の購入依頼を集計し、業者に発注、検品事務を行うことで、学校運営を円滑に行う。	管理・清掃業務委託校数	校	32	32	32
		夜間等機械警備業務委託校数	校	32	32	32
		受付案内業務委託校数	校	32	32	32
4	小学校教育振興事業 小学校の理科教育の向上・充実を図るため、国からの小学校理科教育振興費補助金により教材を購入する。	理科教材の購入	千円	1,110	1,081	970
5	小学校支援学級運営事業 小学校の支援学級運営を円滑に行うため、各小学校からの教材等の購入申請依頼を集計し、業者に発注、検品事務を行う。	支援用教材の購入	千円	8,473	8,391	9,977

教育総務部
教育政策課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
6	中学校維持管理運営事業 各中学校の管理・清掃業務、夜間等機械警備業務、廃棄物の収集・運搬・処理業務等、学校の施設維持管理等に必要な業務を委託し実施するほか、教材等の購入依頼を集計し、業者に発注、検品事務を行うことで、学校運営を円滑に行う。	管理・清掃業務委託校数	校	14	14	14
		夜間等機械警備業務委託校数	校	14	14	14
		学校の施設維持管理等に必要な業務を委託し実施するほか、業者への発注、検品等、学校で必要な教材の購入事務を行うことで、各市立中学校の円滑な運営に資することができた。				
7	中学校教育振興事業 中学校の理科教育の向上・充実を図るため、国からの中学校理科教育振興費補助金により教材を購入する。	理科教材の購入	千円	740	738	635
8	中学校支援学級運営事業 中学校の支援学級運営を円滑に行うため、各中学校からの教材等の購入申請依頼を集計し、業者に発注、検品事務を行う。	支援用教材の購入	千円	3,687	3,535	4,343
9	小学校感染症対策等支援事業 各小学校において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、感染予防用品の購入及びトイレ清掃等を行うほか、個々の学校環境をふまえた感染症予防対策や学習保障に活用できる交付金を配分することで、コロナ禍における学校教育活動を支援する。	トイレ清掃業務委託校数	校	-	-	32
		感染症対策等支援事業交付金交付校数	校	-	-	32
		感染予防用品の購入等により、コロナ禍における学校教育活動を支援することができた。				
10	中学校感染症対策等支援事業 各中学校において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、感染予防用品の購入及びトイレ清掃等を行うほか、個々の学校環境をふまえた感染症予防対策や学習保障に活用できる交付金を配分することで、コロナ禍における学校教育活動を支援する。	トイレ清掃業務委託校数	校	-	-	14
		感染症対策等支援事業交付金交付校数	校	-	-	14
		感染予防用品の購入等により、コロナ禍における学校教育活動を支援することができた。				

教育総務部
学務課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
1	就学・修学に伴う支援事業 経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒に対する就学援助費等の支給や山間部からのバス通学児童生徒に対する通学費の補助を行うなど、各種費用を支給することにより、教育の円滑な実施に資することを目的とする。	就学援助費支給金額	千円	239,917	224,594	112,101
		支援学級等就学奨励費支給金額	千円	19,393	19,101	8,962
		緊急援護費支給金額	千円	27	36	0
		山地部児童・生徒通学費補助金額	千円	509	571	529
		茨木市奨学金支給金額	千円	23,016	18,164	16,940
		・令和元年10月の消費税増税を反映し、就学援助費及び支援学級等就学奨励費の支給額を引き上げた。 ・新型コロナウイルスの影響による経済的負担を軽減するため、就学援助受給世帯に臨時特別給付金を支給した。				
2	学校給食事業（ソフト） 安全で安心な学校給食の充実や学校における食育の推進を図るため、各種学校給食事業を推進するとともに、アレルギー対応マニュアルに沿った運用などアレルギー対応を含めた給食内容の向上・充実に関する調査研究、調理員研修等を行う。	小学校給食費徴収率	%	99.6	99.5	100.0
		中学校給食喫食率	%	4.9	5.0	4.3
		・茨木市中学校給食基本計画を策定した。 ・小学校給食費（児童分）を無償化した。				
3	学校保健事業 学校において、児童生徒等の健康の保持増進を図ること、学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うことなど学校保健の推進を充実するために様々な施策を行う。	就学援助医療券支払件数	件	120	117	146
		負傷児童等搬送利用回数	回	911	823	740
		日本スポーツ振興センター災害給付請求件数	件	4,018	3,832	3,244
		・小中学校内で新型コロナウイルス感染者発生時に、当該学校の教育活動継続の有無を判断した。 ・新型コロナウイルス感染防止対策として、学校保健衛生用品を追加購入し、教員の負担軽減のため、学校消毒業務を委託化した。				
4	就学事務事業 学校教育法に基づき、学齢児童生徒の就学を保障するため、学籍作成や転入学などの事務を適正かつ円滑に行う。	児童生徒数	人	24,137	23,969	23,810
		・配慮を必要とする児童生徒が適正に就学できるよう、個々の状況に応じて保護者や関係機関、関係部署と連絡調整を実施した。 ・校区外からの通学を希望する児童生徒には、指定校変更及び区域外就学基準に基づき通学を許可した。 ・本市に住民票がない児童生徒については、居住実態に基づき、市立小中学校への就学を許可した。				

教育総務部
施設課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
1	小学校営繕事業 小学校施設の整備により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。	大規模改修工事	校	2	1	1
		便所改修工事	校	0	2	3
		エレベーター設置工事	校	3	1	2
		外周塀改修工事	校	0	3	4
2	中学校営繕事業 中学校施設の整備により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。	大規模改修工事	校	1	1	－
		便所改修工事	校	0	1	－
		エレベーター設置工事	校	0	1	0
		外周塀改修工事	校	0	2	2
3	小学校維持補修事業 小学校施設の維持補修により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。	プール改修	校	0	0	0
		屋内運動場屋根改修	校	0	0	0
		プールブロック塀改修設計委託	校	26	－	－
4	中学校維持補修事業 中学校施設の維持補修により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。	屋内運動場屋根改修	校	0	0	0
		プールブロック塀改修設計委託	校	8	－	－
5	小学校施設管理事業 快適な教育環境の維持・増進を図るため、小学校における施設・設備の点検や修繕等を実施するとともに、水道・電気・ガス・通信等学校運営に必要な経費を適正に管理・執行する。	光熱水費	千円	306,262	301,596	267,839
		修繕件数	件	1,169	1,278	1,212

教育総務部
施設課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
6	中学校施設管理事業 快適な教育環境の維持・増進を図るため、中学校における施設・設備の点検や修繕等を実施するとともに、水道・電気・ガス・通信等学校運営に必要な経費を適正に管理・執行する。	光熱水費	千円	99,961	97,825	100,123
		修繕件数	件	591	526	564

教育総務部
社会教育振興課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
1	家庭教育支援事業 家庭教育を支援するために学校と連携しながら、保護者同士が交流し学びあう家庭教育学級の開設や、家庭教育に関する学習の機会の提供等を行う。	講習講座開設数	回	241	230	91
		講習講座の参加者数	人	4,537	3,631	1,054
2	社会教育事業 知識の習得とともに自らの学習と実践を通じて自主的活動の充実と地域の連帯意識を高めることを目的に、各種講習会などを開催する。	講座等の開設数	回	125	114	167
		参加者数	人	1,005	1,180	993
		成人祭参加者数	人	2,085	2,112	1,623
		成人祭参加率	%	68.3	69.7	51.9
3	社会教育関係団体育成事業 社会教育関係団体の活動を促進し、社会教育の振興を図る。 社会教育関係団体等を対象としたリーダー研修、後援等により支援する。	後援件数	件	93	83	35
		リーダー研修会参加者数	人	15	29	-
4	小学校区公民館講座等実施事業 各公民館において、社会教育の場として、地域住民のニーズに対応した文化、スポーツなどの講座等を開催し、住民の主体的な学習活動を支援する。 現代的課題、地域課題について、地域の状況に合わせた取り組みを進める。	講座等開設数	講座	424	400	227
		講座等受講者数	人	11,784	10,921	3,323
		玉櫛公民館SL見学会	回	6	5	5
		玉櫛公民館SL見学会参加者数	人	620	585	667
5	公民館区事業補助事業 地域住民の主体的な学習活動や地域活動を促進し、もって地域住民の生活文化の振興を図るため、補助金を交付する。	ふるさとまつり開催数（館数）	館	18	17	0
		地域レクリエーション開催数（館数）	館	24	22	7
		文化展開催数（館数）	館	24	19	1
		館報発行館数	館	24	23	20

教育総務部
社会教育振興課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
6	中央公民館講座実施事業	日本語読み書き学級実施回数	回	32	31	20
	社会教育の観点から、市民の学習機会の充実を図るため、生涯学習センターを活用した少人数での学習体制による日本語読み書き学級や市民ニーズに対応する講座を開催するほか、現代的な課題、地域課題に応じた事業にも取り組む。	日本語読み書き学級受講者数（延べ人数）	人	395	402	259
		公民館長等研修会	回	2	1	0
7	小学校区公民館維持補修事業	修繕件数（費用発生したもののみ）	件	211	157	118
	小学校区単位での住民等の主体的な学習活動を支援し、生活の向上と文化の振興に寄与するため、学習機会、情報の提供を行う。そのため公民館施設の利用者が安全で快適な施設利用ができるよう、また、施設の長寿命化を図るため、維持補修に努める。					
8	公民館コミュニティセンター化事業	説明会等への出席回数	回	0	0	0
	公民館を取り巻く社会経済情勢が大きく変化し、これからの公民館は、住民ニーズに基づく事業活動だけでなく、地域における課題解決の場としての機能も求められることから、コミュニティ活動の一層の活性化を図るため、公民館のコミュニティセンター化を図る。					
9	小学校区公民館管理運営事業	開館日数	日	298	283	253
	主に、小学校区単位での住民の主体的な学習活動を支援し、生活の向上と文化の振興に寄与するため、各公民館の施設管理・運営を行う。	施設使用件数	件	21,352	19,671	10,889
		施設使用人数	人	291,940	263,288	105,040
10	放課後子ども教室推進事業	実施校数	校	32	32	－
	放課後等に子どもたちの安全で健やかな居場所を確保するため、地域住民の参画を得て、子どもたちと諸活動に取組み、地域社会全体で地域の子どもたちを見守り育むことができるよう、啓発と活動の充実を図る。	実施日数	日	2,664	2,562	－
		放課後子ども教室への児童登録率	%	63.9	62.6	－
・代表者連絡会1回（2月）・放課後子ども総合プラン運営委員会1回（1月） ・研究会書面会議1回（7月）・研究会1回（12月） ・市内の大学等において、放課後子ども教室概要説明及び大学生ボランティアスタッフ募集等を行った。						

教育総務部
社会教育振興課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
11	青少年健全育成事業 青少年健全育成運動を推進し、より一層の青少年育成を図るために青少年問題協議会が青少年育成の方針を樹立し、関係機関・団体と有機的に連携をとりながら、青少年育成のための諸事業の実施及び問題行動の防止等に努める。	青少年健全育成大会・教育問題懇談会開催校区数	中学校区	15	16	－
		青少年のためのイベント参加者数	人	923	1,364	－
		青少年のためのイベント学生運営スタッフ数	人	40	202	－
		・青少年健全育成団体への事業補助を行った。 ・青少年健全育成行事の好事例を評価し表彰する「ほっとけん！アワード」を実施した。				
12	上中条青少年センター運営事業 青少年及び青少年団体の健全な育成を図るため、体験活動や文化的交流事業を実施するとともに、自主的・組織的な青少年活動を支援する。	利用者数	人	49,781	49,178	26,701
		貸室稼働率	%	61.7	61.8	51.8
		・子どもセミナー等主催事業 25回(随時)				
13	青少年野外活動センター運営事業 青少年の健全育成のために、自然体験や集団生活の機会を提供するとともに、青少年が自然に親しみ、仲間作りやボランティア活動等を楽しみながら体験することで、より豊かな人間性を身に付けるための学習機会を提供する。	年間利用人数	人	9,015	10,240	2,615
		稼働率	%	57.6	57.9	42.0
		主催事業延参加者数	人	2,725	2,879	770
		主催事業数	事業	10	11	3
		「少人数・短時間」を基本としたキャンプの実施により新たなファミリー層等の利用につながった。				
14	青少年活動・育成事業 こども会をはじめとした青少年団体等や、これらの青少年を育成する組織が活発な活動を展開するための情報や活動機会の提供に努め、青少年教育活動の推進を図る。	こども会結成数	こども会	216	209	189
		こども会親善スポーツ中央大会参加児童	人	508	406	－
		こども会親善百人一首カルタ競技大会参加児童	人	203	220	－
		こども会加入率	%	37.6	34.4	30.8
		こども会サポーター登録者数	人	37	42	38
		コロナ禍で地域の活動が難しい状況であったため、感染対策を徹底し、キャンプカウンセラーによる「こども会レクリエーションのつどい」を実施した。				
15	公民館エレベーター等設置事業 高齢者や身障者等全ての利用者にとって、より利用しやすい施設とするため、エレベーターを設置し、バリアフリー化を図る。また、施設の長寿命化や全ての利用者にとって快適で利用しやすい施設とするため、大規模改修等を実施する。	エレベーター既設置公民館数	館	8	8	8
		公民館大規模工事数（EV等）	数	1	1	2

教育総務部
歴史文化財課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
1	文化財資料館キリシタン遺物史料館運営事業 文化財資料館とキリシタン遺物史料館の適切な運営を図るため、施設の維持・補修を行うなど、文化財の保存、啓発に向けた基盤を確立する。	施設修繕費	千円	-	-	2,670
		施設維持管理費	千円	-	-	3,937
		コロナ禍により休館していたが、施設の維持管理は実施した。				
2	文化財保護事業 指定文化財をはじめ市内に残された文化財に対し、その保存と活用のために必要な措置を講ずることにより、郷土の歴史の正しい理解と郷土愛の醸成を図り、市民文化の向上に貢献する。	「テーマ展」入館者数	人	3,789	2,863	-
		「郷土史教室」延べ受講者数	人	398	394	-
		「古文書教室」延べ受講者数	人	138	156	40
		コロナ禍による休館に伴い、市内文化財を紹介する動画の市ホームページへの掲載や各小学校とのオンライン授業、Web会議システムを用いた講座といった啓発活動に取り組んだ。				
3	文化財発掘調査事業 文化財保護法の定めにより、市内に存在する埋蔵文化財の発掘調査を開発行為等に先立って行う。また、埋蔵文化財の保存と活用を図り、郷土愛の醸成、市民文化の向上に貢献する。	発掘調査件数	件	-	-	168
		出土遺物整理事業費	千円	-	-	19,580
		史跡等維持管理費	千円	-	-	2,787
		発掘調査や遺物整理の成果を市役所南館 6 階エレベーターホール前で速報的に展示した。				
4	郡山宿本陣運営事業 国史跡である郡山宿本陣（椿の本陣）の公開事業を通じ、歴史や文化財に対する市民の理解と関心を深め、市民文化の向上に貢献する。	一般公開時見学者数	人	237	-	-
		特別公開時見学者数	人	-	-	-
		コロナ禍により公開は中止としたが、本陣の維持管理は実施した。				
5	千提寺菱ヶ谷遺跡整備活用事業 本市の貴重なキリシタン関連遺跡である同遺跡の市史跡指定を見据えながら、豊かな自然及び地域との共生を目指した持続的な整備と活用を図る。	遺跡整備事業費	千円	-	-	4,560
		遺跡維持管理費	千円	-	-	220

教育総務部
歴史文化財課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
6	ザビエル像発見100周年記念事業 本市に残された貴重な歴史遺産の魅力を広く市内外に周知するため、キリシタン遺物史料館において実施するザビエル像100周年記念企画展とあわせ、文化財資料館においてメダイ鑄造体験を実施する。	キリシタン遺物史料館企画展来館者数	人	-	-	1,355
		メダイ鑄造体験	人	-	-	15
7	歴史的建造物等保存活用推進事業（神社・寺院など） 歴史的建造物の代表的なものとして神社（81社うち式内社11社）や寺院（105寺）が数多く存在し、本市の風土・文化・景観を形成していることから、市民が歴史的建造物等について理解を深め、地域での保存と活用の取り組みを実行できるよう調査・啓発を行う。	建造物調査件数	件	6	5	0
		歴史的建造物の調査成果をまとめた報告書（寺院編）を刊行した。				
8	茨木・高槻文化財連携事業 茨木・高槻両市文化財関係課が連携し広域的事業を実施することで、市民の歴史文化意識の高揚及び郷土愛の醸成を更に図る。	たかつきいばらき歴史遺産カード配布数	枚	12,851	3,251	-
		たかつき・いばらき歴史ウォーカー	人	-	13	-

教育総務部
中央図書館

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
1	資料情報収集提供事業	資料貸出点数	点	3,653,098	3,526,464	3,063,456
	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的に、図書、視聴覚資料、データベース等記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に提供する。また読書案内やレファレンス・サービス（調べもの支援）などで、利用者と必要な資料を結びつける。	蔵書冊数	冊	1,269,845	1,245,851	1,258,319
		・来館せずに利用できる電子書籍を導入した。 ・コロナ禍においても、資料を利用できるよう、郵送貸出サービスを実施した。 ・特定のテーマに関する資料や検索方法を紹介する冊子パスファインダーを作成し、利用者の利便性を図った。				
2	図書館利用促進事業	利用促進行事参加人数（ロビー展示を除く）	人	7,061	5,788	209
	より多くの市民に利用してもらい、利用者の教養、レクリエーション等に資することを目的に、市民との協働によりさまざまな行事や取り組みを行うとともに、市民の利便性の向上のため、サービス拠点の充実など、図書館サービス網の整備を行う。	駅返却ポスト（2か所）への返却冊数	冊	155,322	164,372	131,290
		広域利用貸出冊数（茨木市民の他市利用）	冊	24,217	25,347	17,883
		・コロナ禍においてもボランティアとの協働による行事や講座等を実施し、本と出会う機会の充実を図った。 ・市内で開催されるイベントに移動図書館が出動し、利用促進を図った。				
3	読書推進事業	読書推進行事参加人数（おはなし会を除く）	人	2,257	2,441	240
	市域全体で乳幼児から高齢者まで、物語や読書を楽しむことができるよう、学校や関係施設、関係課と連携し、環境を整備・機会の提供を行い、読書活動を推進する。	おはなし会参加人数	人	17,074	16,705	1,992
		学校・幼稚園・保育所等への団体貸出冊数	冊	1,996	3,024	1,957
		小学生図書館見学・中学生職場体験学校数	校	35	41	1
		・新たな本との出会いの機会の充実のため、季節や時事、年齢に応じた特集コーナーを企画した。 ・学校と連携し、「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催した。 ・読書推進の講座をオンライン開催し、コロナ禍でも参加できる取組とした。				
4	図書館 I C T 事業	インターネットからの予約点数	点	550,012	603,314	650,411
	I C タグの導入による資料管理の効率化やホームページの充実、Wi-Fi環境の整備などを行い、市民の利便性の向上を図るとともに、情報・資料へのアクセスを容易にする環境づくりを行う。	ホームページアクセス件数	件	875,010	922,749	961,992
		インターネット端末利用件数	件	6,026	5,467	2,276
		・図書館システムを更新し、ホームページ改修を行い、わかりやすい情報発信に努めた。				
5	図書館営繕事業	中央図書館設計・工事件数	件	3	0	1
	利用者の安全性の確保及び施設の長寿命化を図る。 老朽化している図書館の改修を行い、利用者が安心して利用できる施設の維持を行う。					
				中央図書館、分館の営繕について、年次計画を作成した。		

教育総務部
中央図書館

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度
6	富士正晴記念館事業 寄託を受けた郷土の作家である富士正晴氏に関する資料の収集・整理・保存を行い、資料整理報告書の刊行や、整理資料の公開、講演会（年1回）を実施する。	記念館来館者数	人	4,136	4,066	2,691
		講演会参加人数	人	62	53	-
		・企画展示を2回行った。 ・「竹林の隠者 富士正晴のあしあと 第2集」を刊行した。				
7	図書館施設維持事業 利用者の安全性の確保及び施設の長寿命化を図る。 老朽化している図書館の改修を行い、利用者が安心して利用できる施設の維持を行う。	各種修繕件数	件	71	56	46
		中央図書館・分館・分室の設備等を、必要に応じて修繕を行い、利用者が安心して利用できるように努めた。				